

あまみきじんじや 天御酒神社

まつられているのは木花咲耶姫で、古知の庄、すぎのうら、おした、こうじん、やま、まも、がみ、杉之内、塩田、荒神山の守り神です。寛文2年(1662)に建てられたと伝えられています。しんでん、めいじ、たて、なご、あんざん、神殿は明治30年(1897)に建て直され、安産の神さまとして多くの人がおまいりしています。あき、まつ、やたい、ね、せいでい、おご、秋の祭りでは屋台練りが盛大に行われます。

行った日



いちじょうさんれんげじ 一乗山蓮華寺

天台宗のお寺で、本堂は舞台造りです。まつられている地蔵菩薩は石仏で、高さ11cmです。岩に腰かけ、片足を下ろし、もう片足を下ろした足の太ももに乗せた姿で、ふだんは見る事ができません。鐘は宝暦4年(1754)につくられ、太平洋戦争の時に、武器をつくる材料として差し出しましたが、戦争が終わったため返されました。

行った日



おきしおじんじや 置塩神社

寛延2年(1749)、姫路藩では、藩におさめる年貢のと、た、きひ、おしお、むら、のうみん、おら、しんべ、取り立てが厳しく、置塩の村の農民たちは、滑の甚兵衛をリーダーに、塩田の利兵衛、又坂の与次右衛門たちと一緒に藩に立ち向かいましたが、死刑になりました。この時亡くなった人たちをまつために、昭和29年(1954)に置塩神社が建てられました。

行った日



かすがさんこうずいじ 春日山光瑞寺

浄土真宗本願寺派のお寺で、阿彌陀如来がまつられています。武田信玄に仕えていた高坂弾正昌信の三男・四郎兵衛昌房が龜山本徳寺からこの場所にやってきました、庵を建てたことが始まりとされています。その子どもの浄念が元和8年(1622)、光瑞寺と名づけました。今の本堂は寛政10年(1798)に建て直されたものです。

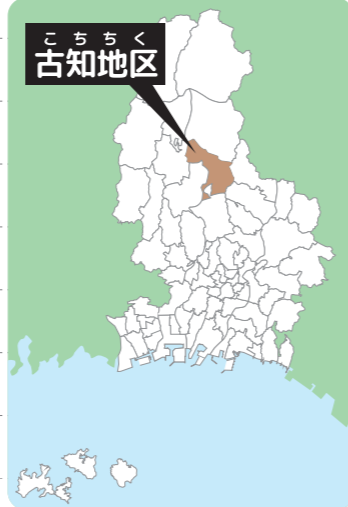
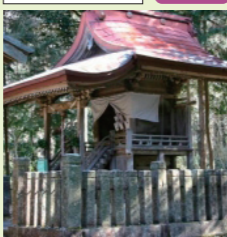
行った日



かやもりじんじや 柏森神社

おやまつあのみこと、おきしおじょう、たいめ、大山津見命がまつられています。置塩城の5代目の殿さま赤松則房が羽柴秀吉に従って、天正8年(1580)にお城を明け渡しました。その時、お城のまも、かみ、ひと、かえ、つた、守り神の一つを返してもらい、まつたと伝えられています。今の社殿は春日造の小さな社で、大正12年(1923)に建て直されたものです。

行った日



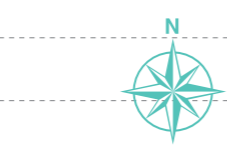
しら、調べたこと、わかかったことを書いてみよう!



ふちおうけつ、どんどが淵鑿穴

62 古知地区

なごら、しんべ、え、との、わる、せいじ、滑の甚兵衛は殿さまの悪い政治から村の農民たちを助けようとしたのです。この反抗運動を「百姓一揆」といいます。どんなことが原因だったのか調べてみましょう。



- いせき、し、せき、遺跡・史跡、歴史上の名所
- じんじや、あつ、あつ、神社・仏閣、歴史的建造物
- しんじや、あつ、あつ、歴史上の人物など
- まつ、祭り
- びじやつ、美術品
- でんとう、げい、伝統芸能など
- けい、景勝
- せいぶつ、生物・花
- まち、町並み
- etc、その他



かやもりじんじや、柏森神社

0m 500m 1km

行った日



ぎみんなべ じんべえづか 義民滑の甚兵衛塚

なごら、しんべ、え、ひめ、じ、はん、との、わる、せいじ、滑の甚兵衛は、姫路藩の殿さまの悪い政治に苦しむ農民たちの先頭に立って、殿さまに戦いをいどみました。その行いではりつけの刑にされましたが、塩田の利兵衛、又坂の与次右衛門とともにその行動が今も多くの人々にほめられたとされています。

こちのしょうせきぶつ 古知之庄石仏

たか、しぜん、いし、つえ、も、た、高さ160cmの自然の石に、杖を持って立つ48cmの地蔵菩薩像が彫られています。室町幕府4代將軍足利義持のころ、続けて起こった飢饉はやはり病で人々が苦しんだ時代に、つくられたものと思われまます。

行った日



しおた おんせんごう 塩田温泉郷

しおた、おんせん、れきし、ふる、おんせん、はつ、塩田温泉の歴史はとてとても古く、温泉が発見されたのは奈良時代だと考えられています。江戸時代の元文年間(1736~41)には、病気を治すための温泉として利用されたという記録が残っています。

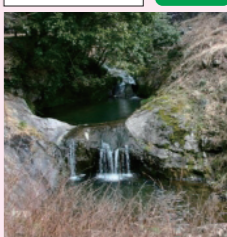
行った日



ふちおうけつ どんどが淵鑿穴

たき、のようになった水路にできた大きな穴です。土や砂でうまっていて、穴がどれくらい深いのか分かっていません。岩にあいた小さな穴に、たまに水や小石が流れこみ、長い年月をかけてかき混ぜられたことでだんだんと穴が大きくなってできたものです。

行った日



ほうおんじ あと ほせきぐん 法恩寺跡墓石群

こちのしょうせきぶつ、おきしおじんじや、おん、やま、古知之庄法恩寺は置塩神社の南の山のふもとにありましたが、昭和40年(1965)の水害で流されてしまいました。残った墓石の中に、県の文化財に指定されている「石造無縫塔」があります。塔の裏には「開山塔」、横には「永和四年(1378)」と彫られています。室町時代の美術品として貴重な文化財です。

行った日

